



第7号

向陽 SSH NEWS



2年サイエンスツアー 3日目 国立科学博物館

最終日の7月28日(水)は、国立科学博物館を訪問しました。国立科学博物館は1877年に設立された、日本で最も歴史のある博物館の一つであり、国立の唯一の総合科学博物館です。約370万点におよぶ貴重なコレクションが保管されています。研修では、地球館「地球生命史と人類」と日本館「日本列島の自然と私たち」を見学しました。また、シアター360(サン・ロク・マル)では、地球の大きさの約100万分の1である内径12.8メートルの



球体内部の壁面全体に映し出される映像と独特の浮遊感など、世界初のシアターを体験することができました。

参加生徒の感想より

「生物だけでも総展示数が多いのに驚きました。地球にはそれだけ多くの生物が生きていて、人為的に自然を壊してしまうことの重大さを改めて実感することができました。」「科学について、とても分かりやすく、楽しい展示がたくさんありました。」「生き物たちの進化や日本人の歴史などを感じることができて、驚くことや興味深いことがたくさんありました。」



SSH夏季科学研修

高輝度光科学センターSPring8 ・ 西はりま天文台 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター



8月6日(金)～7日(土)の一泊二日で、SSH夏季科学研修が実施され、中学生11名、高校生19名の計30名が参加しました。今回の研修では、先端科学を見学し、第一線の研究者の学問探究の姿勢を学ぶことを通して、科学的知見と興味・関心をより一層深め、自己学習能力と科学的視点からの問題解決能力を見つけることを目的にしています。1日目は、SPring-8と西はりま天文台を、2日目は阪神・淡路大震災記念人と防災未来センターを訪問しました。SPring-8では、概要について説明していただいた後、放射光の特徴や放射光を利用してどのような研究がなされているのか教えていただきました。また、蓄積リング棟2階見学室から実験

ホールを見学しました。XFEL棟の見学では、学会のためにいらっやっていた理化学研究所・播磨研究所放射光科学総合研究センターの新竹積先生(XFEL建設に携われた)とお会いすることができ、幸運にもX線自由電子レーザー棟について説明していただき、一般の見学者では立ち入りできない施設内も見学することができました。放射光普及棟展示室では、体験型の展示を通し、学習を深めました。西はりま天文台では、5～6人のグループに分かれ、研究員の方から望遠鏡操作について教えていただきました。夕食後は、2mなゆた望遠鏡による観望会に参加しました。なゆた望遠鏡はとても大きく、迫力がありました。研究員の方から説明



を受けた後、なゆた望遠鏡で金星を、観望テラスで、ベガとアルタイルを見せていただきました。観望会が終わった後、希望者による星の観望を行いました。あいにくの曇り空でしたが、見学ドームの屋根はスライディングルーフとなっており、屋根を全開にし、雲の切れ間からときどき見えた星は、とてもきれいでした。

2日目の人と防災未来センターでは、展示ゾーンを見学した後、語り部ボランティアの方に講話していただきました。

参加生徒の感想より

「曇っていたので残念だったが、雲の切れ間から見た星はとてもきれいだった。」「SPring-8での研修は難しかったが、新しい技術をもつ施設を見学することができてよかった。」「とても大きな施設で驚いた。それぞれの目的に応じて放射光を取り出し、様々な研究がされていると聞き、すごいと思った。」「今まで教わったことより詳しいことを知ることができ、改めて地震の恐ろしさを感じた。」



🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌
新竹積先生の説明を
熱心に聞く参加生徒
🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌🍌

